



サトシン/作
よしなが こうたく/絵
講談社
2011年 ¥1400

でんせつの きょだいあんまんをはこべ

突然空から落ちてきた巨大なあんまん。アリたちはプロジェクトチームを結成し、伝説の巨大あんまんを丸ごと運ぶミッションに挑む！手に汗を握り、ラストでは「あーまーん」とアリたちと共に雄叫びを上げたくなる。達成感を味わいたいならこの1冊！



ウィリアム・スタイク/著
せた ていじ/やく
評論社
2006年 ¥1300

ロバのシルベスターとまほうの小石

ロバのシルベスターは、ある日、望みがかなう小石を見つけた。喜んだのも束の間、ライオンに出会ったシルベスターは慌てて「僕は岩になりたい」と願ってしまい…。家族を思いやる強い気持ちがひしひしと伝わってくるお話。

悪い本 怪談えほん 1

この世の悪いことを、よく知っている悪い本。誰かを嫌いになったとき、何かが無くなればいいと思ったとき。きっとその本が欲しくなる。誰だって持つであろう負の感情に、クマのぬいぐるみが語りかけてくるような怪談絵本。ゾッとした後で、何か納得するような気持ちにもなります。



宮部 みゆき/作
吉田 尚令/絵
東 雅夫/編
岩崎書店
2011年 ¥1500

ちいさいおうち

いなかの静かな所に、ちいさいおうちがありました。穏やかに移り行く風景を眺めながら過ごしていましたが、次第に発展していき、賑やかな街になって…。シンプルながら美しく丁寧な文章が魅力的な絵本です。



バーニア・リー・バートン/文・絵
石井 桃子/訳
岩波書店
1981年 ¥800



いもと ようこ/作・絵
岩崎書店
2007年 ¥1300

ずっとそばに…

人間によって山奥に追いやられた動物たち。食糧不足で弱っていく子供たちのために人里に下りたくまさんは、鉄砲で撃たれてしまい…。人間の生活圏に野生動物がやって来る理由や、人と動物が共存する方法など、考えるきっかけになる絵本です。

現在購入できる版の出版年を掲載しています。
価格は2021年2月現在の本体価格です。

掲載については出版社の許諾を得ています。
無断で転載することを禁じます。



2021年3月発行
大洲市立図書館



図書館司書
おすすめ

子供とともに 本をひらこう 未来のページ
(「第2次大洲市子供読書活動推進計画」より)

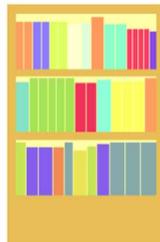
小学校
高学年版

うちどく絵本リスト



毎月第3日曜日は“うちどくの日”

「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。
「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！



●うちどくをはじめると、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。そこで、図書館司書が家族で読んでほしい絵本をおすすめします。



セス・フィッシュマン/作
イザベル・グリーンバーグ/絵
竹内 薫/訳
偕成社
2020年 ¥1500

こんな おおきなかず、みたことある？

宇宙には100,000,000,000,000,000,000,000個の星がある。この数字、読めますか？地球には77億人もの方が住んでいるし、人は一生で16万km歩く…。気の遠くなるような、でもわたしたちのまわりに確かにある大きな数の絵本です。



まつむら ゆりこ/作
小林 マキ/絵
福音館書店
2020年 ¥1400

はじまりは たき火

人間とエネルギーとの歴史が書かれています。その始まりは火。最初は怖かった火の性質を知り、さまざまなものに使っていく人間。その知恵に感心しつつ、それは自然のめぐみがあってこそ。エネルギーと暮らしを考える本です。



鈴木 海花/文
はた こうしろう/絵
福音館書店
2020年 ¥1300

わたしたちのカメムシずかん

くさくてやっかいもののカメムシ。一口にカメムシと言っても、日本には1,100種以上いるそうです。岩手県のある小学校のみんなは、身近にいるたくさんのカメムシをつかまえて調べるうちに、うっかり好きになってしまっ…？



山下 賢二/作
中田 いくみ/絵
岩崎書店
2018年 ¥1600

やましたくんはしゃべらない こんな子きらいかな？ 3

山下くんは、1年生の頃から6年生の今まで、一言もしゃべったことがない。仲のいい友達だって、山下くんの声を聞いたことはない。こんな子、きらいかな？クラスにこんな子がいたら、きみはどうする？

わたしのわごむはわたさない

わごむが「わたしだけのたからもの」になったら、なんだって出来る！そんな使い方があったんだ！とわくわくしながら読めます。最後のオチにも笑えます。いざヨシタケワールドへ！



ヨシタケ シンスケ/作・絵
PHP 研究所
2019年 ¥1000

はやくちことばで おでんもおんせん

聞いたことがあるような早口言葉がおでんバージョンに。温泉でくつろぐおでんの具たちの様子もとっても楽しい。ぜひ声に出して読んで、家族で誰がうまく言えるか競争してみてください！



川北 亮司/文
飯野 和好/絵
くもん出版
2017年 ¥1200

かべのむこうに なにがある？

大きな赤い壁の向こうが気になるねずみ。興味がなく知ろうとしない動物たち。例えば、新しい事に挑戦するときの楽しみや不安にもあてはめられるような…。自分は誰だろうなどと、いろいろ考えることができる本です。



ブリッタ・テックトラップ/作
風木 一人/訳
BL 出版
2018年 ¥1200



スティブ・アントニー/さく
せな あいこ/やく
評論社
2015年 ¥1400

女王さまのぼうし

女王さまが大切な人に会うため出かけます。そこへ強い風が吹いて、お気に入りの帽子を吹き飛ばしてしまいました。帽子はどんどん飛ばされて、ロンドンの名所を巡り…。イラストは基本的に赤・黒・紫の三色でまとめられ、建物などの細かい描写が目を引く絵本です。

そうさん、どこにいるの？

探し絵遊び絵本かと思いきや。最初は木がたくさんある森に住んでいた象たち。だけど、少しずつ木が切られ、家が建ち、隠れる場所がなくなってしまい…。環境について考えるきっかけになる本です。



バルー/作
柳田 邦男/訳
光村教育図書
2015年 ¥1300

旅の絵本 8 (既9巻)

人生のはじめのほうに出合えてよかったと思える本。安野光雅さんの『旅の絵本』シリーズは見るたびに新たな発見があり、ひきこまれます。字がないのでパラパラ見るもよし、解説をじっくり読むもよし。



安野 光雅/[著]
福音館書店
2013年 ¥1400

発見！古典はおもしろい 全3巻

四つの古典のお話を、イラストと分かりやすい文章で紹介しています。舞台となる京の都のマップや場所の解説も載っています。全3巻で、こわい話、すごい人・変な人の話、ふきだす話が紹介されていて、楽しく読めて古典に興味がかわく絵本です。



面谷 哲郎/文
水野 ぶりん/絵
偕成社
2015年 ¥2800



エミリー・アーノルド・マッカーリー/作/絵
津森 優子/訳
文溪堂
2013年 ¥1500

つなのうえのミレット

19世紀パリ。旅芸人ベリーニのつなわたりにあこがれたミレットは、彼に弟子入ります。数々の神業を成し遂げたベリーニですが、今ではつなをわたるのがこわくて…。少女と旅芸人の心のつながりが胸を打つ絵本です。

世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

2012年リオデジャネイロでの環境会議で、南米ウルグアイのムヒカ前大統領は、貧乏とはものを少ししか持てないことではなくて、限りなく多くのものを欲しがり続けている生活だと述べた。地球の将来や自分たちの生き方を考えるきっかけに。



ムヒカ/述
くさば よしみ/編
中川 学/絵
汐文社
2014年 ¥1600

地球パラダイス

工藤直子さんの自然をうたった可愛らしい世界観と、石井聖岳さんの生きものの世界を切り取ったカラフルなイラストがマッチしていて、とてもウキウキする詩の絵本です。どれがお気に入りの詩は見つかるでしょうか。



工藤 直子/詩
石井 聖岳/絵
偕成社
2012年 ¥1200